

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー


















南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/16 （11/9との比較）	11/16 （11/9との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	2.36% （▲0.14）	85.80円 （▲0.41%）	+1.9% 2018年2Q	1.75%	発表された製造業売上高は市場予想を上回ったものの、中古住宅販売件数は市場予想を下回る結果。原油価格が大幅に下落したことが重石となったことなどから、カナダドルは対円で下落。国債利回りは低下。	小売売上高やCPI（消費者物価指数）などが発表予定。足元の原油価格の下落により、中銀の利上げに関する見解が変化したかを知る手がかりとして、ウィルキンス上級副総裁の発言には注目。為替市場は底堅い推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		
ブラジル 	BB-	8.69% （▲0.21）	30.15円 （▲1.10%）	+1.0% 2018年2Q	6.50%	発表された小売売上高は市場予想を下回る結果。ボルソナロ次期大統領が、年金改革に関する法案が年内に議会を通過する公算は小さいとの見方を示したことなどから、リアルは対円で下落。国債利回りは低下。	特段重要な経済指標等の発表はなし。ボルソナロ次期政権が、次期ブラジル中銀総裁として、市場寄り好意的に捉えられているネト氏を指名したことなどから、為替市場は底堅く推移すると予想。
	Ba2	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	8.77% （+0.08）	5.60円 （▲0.97%）	+2.6% 2018年3Q	8.00%	中銀は金融政策決定会合で政策金利の引き上げを決定。ロペスオブラドール次期政権が実施する観光鉄道敷設などの政策に対して、先行き不透明感が広がったことなどから、メキシコペソは対円で下落。国債利回りは上昇。	GDP（国内総生産）や経常収支などが発表予定。引き続き、ロペスオブラドール次期政権の政策の行方に注目。政策金利を引き上げたことなどから、為替市場は下値は限定的と予想。
	A3	 金利横ばい	 金利横ばい	 景気安定	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/16 （11/9との比較）	11/16 （11/9との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.68% （▲0.08）	82.73円 （+0.59%）	+3.4% 2018年2Q	1.50%	発表された雇用者数変化や失業率は市場予想を上回る結果。英国のEU（欧州連合）離脱交渉で草案合意が報道されたことや、10月の雇用統計が堅調な結果となったことなどから、豪ドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	製造業PMIなどが発表予定。引き続き、英国のEU離脱交渉をめぐり、英国とEUの間で承認が得られると、リスク選好姿勢が強まることなどから、行方には要注目。債券・為替市場は概ねレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.71% （▲0.09）	77.64円 （+1.08%）	+2.8% 2018年2Q	1.75%	発表された製造業PMIは前回分を上回る結果。持ち高調整の動きや、米ドルが主要国通貨に対して軟調な展開となったことなどの流れを受け、ニュージーランドドルは対円で上昇。国債利回りは低下。	パフォーマンス・サービス指数やPPI（生産者物価指数）などが発表予定。足元は米中貿易摩擦に対する思惑に振らされやすい相場環境のため、行方には要注目。先週の流れを引き継ぎ、為替市場は底堅い推移を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.94% （▲0.05）	13.37円 （▲0.92%）	+1.1% 2018年3Q	0.75%	発表されたGDPや貿易収支は前回分を上回る結果となったものの、影響は限定的。原油価格が大きく下落したことを受け、ノルウェークローネは対円で下落。国債利回りは低下。	消費者信頼感指数や失業率などが発表予定。米中貿易摩擦の行方が注目される中、外部要因に振らされやすい環境は継続。原油価格が低水準で推移していることなどから、為替市場は上値の重い展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		11/16 （11/9との比較）	11/16 （11/9との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	8.43% （▲0.10）	8.07円 （+1.88%）	+0.4% 2018年2Q	6.50%	発表された小売売上高は市場予想を下回る結果となったものの、影響は限定的。原油価格が大幅に下落したことなどを背景に、ランドは対円で上昇。国債利回りは低下。	中銀による金融政策決定会合などが予定。市場では追加利上げを見込む。また、CPIの発表なども控えており、重要指標は多い。債券・為替市場はともに国内動向をにらみながらの推移になると予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 利上げ局面		
インドネシア 	BBB-	7.99% （+0.01）	0.78円 （+0.52%）	+5.2% 2018年3Q	6.00%	発表された貿易収支は市場予想を下回る結果。また中銀は金融政策決定会合で政策金利の引上げを決定。引き続きルピア相場の安定に向けた対策を講じていくとの表明などを受け、ルピアは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。債券・為替市場は、引き続き米国株や米中貿易摩擦など、外部要因に影響を受けやすい展開を想定。ただし、中銀の予想外の利上げなどを受け、為替市場は底堅く推移する見込み。
	Baa2	 金利上昇		 景気拡大	 利上げ局面		
インド 	BBB-	7.65% （+0.04）	1.57円 （▲0.06%）	+8.2% 2018年2Q	6.50%	発表されたCPIは市場予想を下回る結果となったものの、鉱工業生産は市場予想を上回る結果。中銀と政府の間で対立が強まっていることなどから、インドルピーは対円で下落。国債利回りは上昇。	特段重要な経済指標等の発表はなし。剰余金の国庫納付や不良債権基準の緩和などで、中銀と政府との間で対立が強まると、中銀の独立性への懸念が広がることなどから、行方には要注目。為替市場は上値の重い動きを想定。
	Baa2	 金利上昇		 景気回復	 据え置き局面		

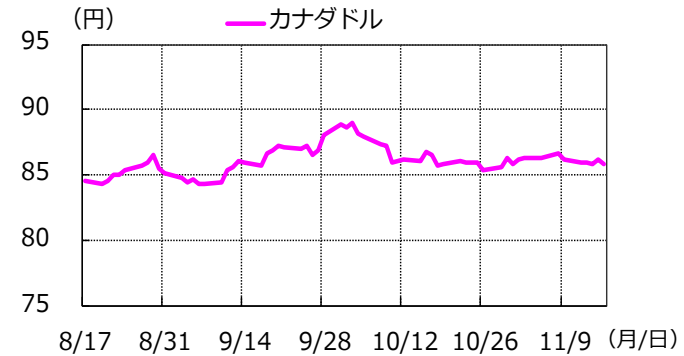
出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 国債利回りを表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。
- ※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

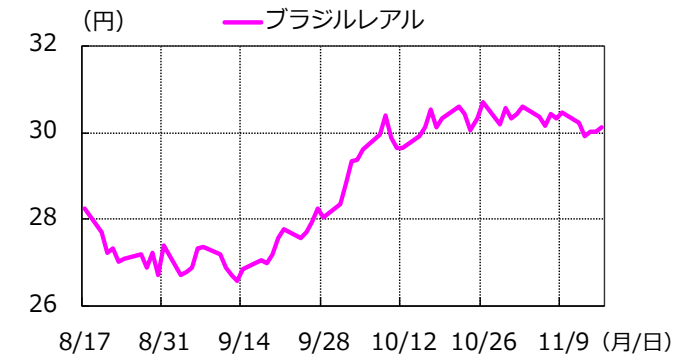
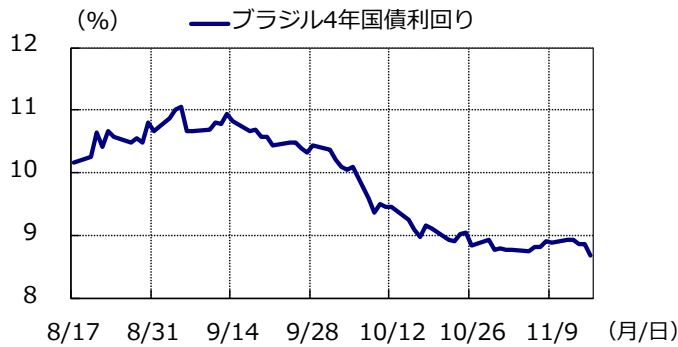
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/8/17～2018/11/16

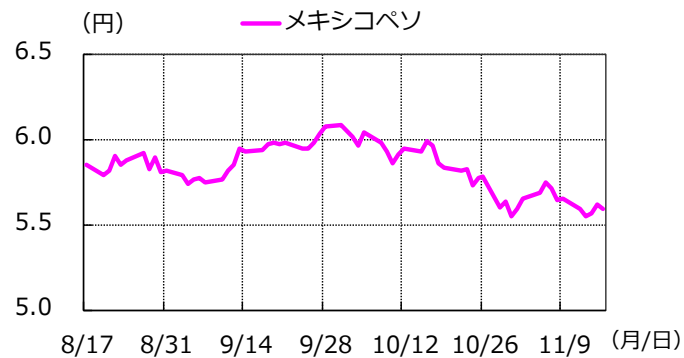
カナダ



ブラジル



メキシコ

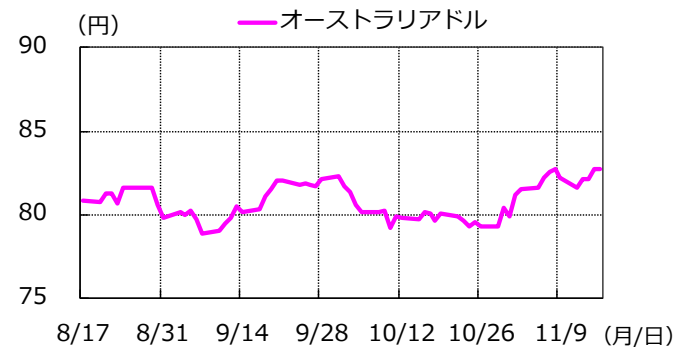


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

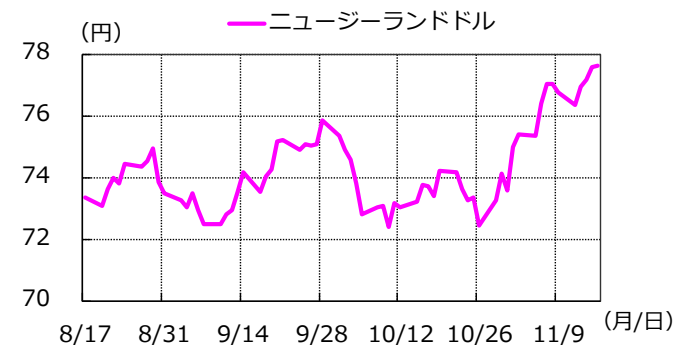
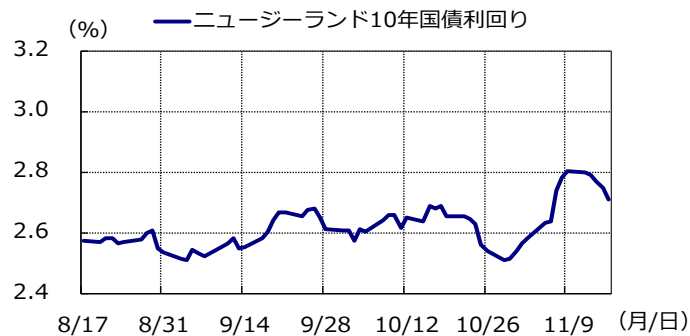
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/8/17～2018/11/16

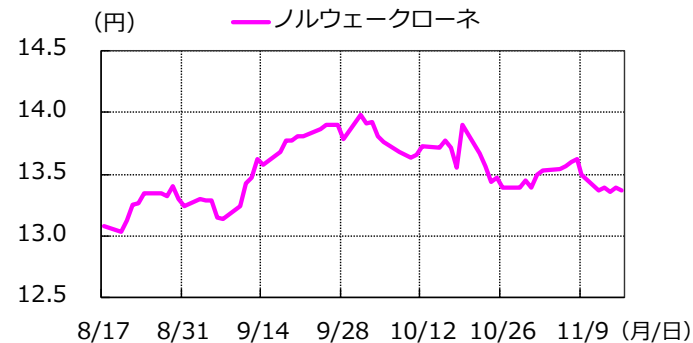
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

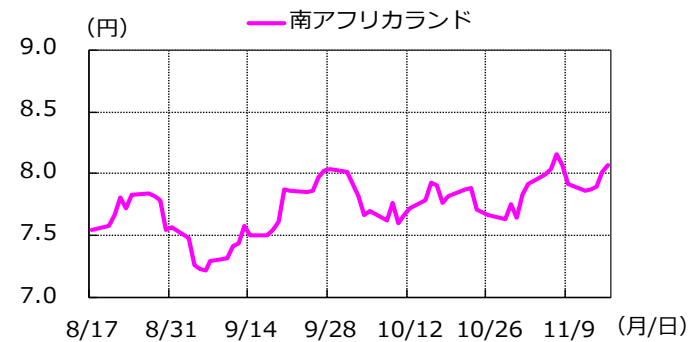
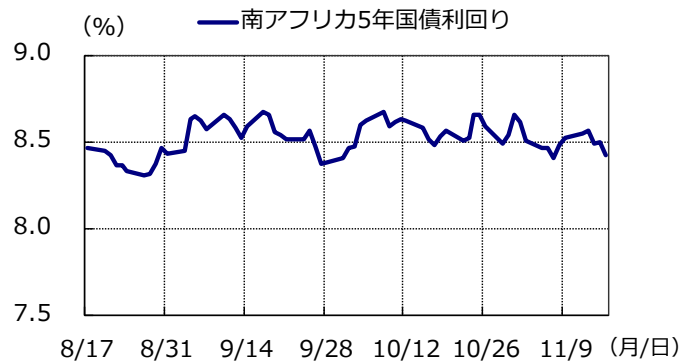


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバークのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

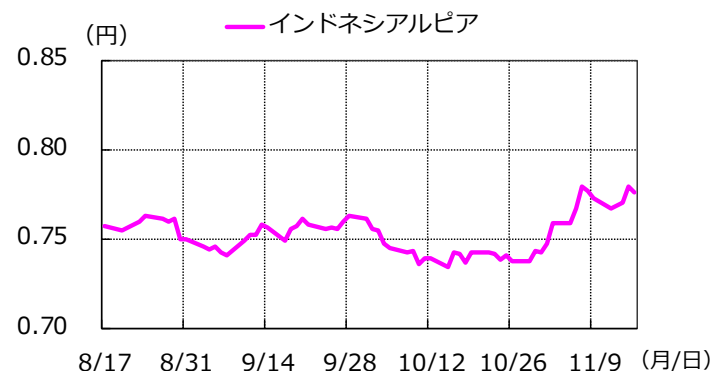
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2018/8/17～2018/11/16

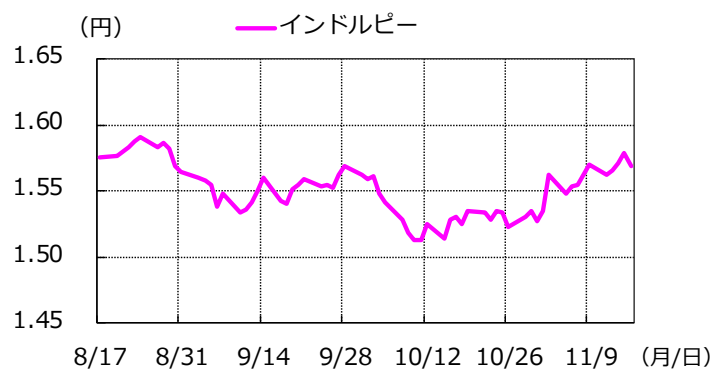
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。